



# 新年のご挨拶

大衡村長 萩原達雄



明けましておめでとうございます。

新しい年の幕開けにあたり、希望に満ちた輝かしい二年なることをお祈りし、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

村民の皆様方におかれましては、ご家族お揃いで新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年の水稲作況指数は、本村の位置する宮城県中部で「96」の「やや不良」となり、「昨年」に引き続きの豊作とはなりませんでしたが、また、農業を取り巻く情勢は恒常的な農産物価格の低迷など依然として厳しい状況にあり、生産者としての自助努力がより一層求められる時代になってきております。今後、農家の皆様が安定して農業経営ができるよう、地域農業の更なる活性化を図りながら、引き続きできる限りの支援をして参ります。

自治体の自主財源の確保と雇用機会の増加に繋がる企業誘致活動では、大衡工業団地の「全農物流株式会社」が操業を開始し、昨年7月には「CKD株式会社」と第二仙台北部中核工業団地への立地協定を締結するなど企業立地が進んでおります。今後も引き続き企業誘致活動に積極的に取り組むと共に、村内既存企業と新規立地企業との効果的な連携を視野に企業間相互の共存共栄が図られるよう努めて参ります。

昨年9月に販売を開始した「ときわ台南」住宅団地は、販売事務所用地2区画を除く106区画が昨年11月末までに完売しました。今年からは各戸の住宅の建築が始まり、更なる定住化が図られることとなります。

国道4号の4車線化拡幅事業については、大衡中学校前から大崎市二本木境まで約5km

の現道拡幅事業化が「昨年4月に決定し、現在は調査設計及び用地調査が進められているところ」です。大崎市などの県内自治体及び村内立地企業と連携しながら、早期着工に向けて粘り強く要望して参ります。

村内の水害対策については、国において平成27年9月の関東・東北豪雨被害を受け、鳴瀬川水系河川整備計画の見直しを図り、吉田川上流部に遊水地群を設ける河川整備事業を今後6カ年で整備することとなり、昨年末に着工の運びとなりました。事業の進捗については、随時村民の皆様にお知らせして参ります。

本村では、未来を担う子どもたちの健全な成長を願い、安心して子どもを産み育てられる環境づくりとして、18歳までの医療費の助成や妊婦に対してタクシーへの乗車や紙オムツ、粉ミルクの購入に利用できる「万葉のびのび子育て支援券」の交付に加え、出産祝金と入学祝金の支給を行い子育て支援の拡充を図っております。また、小規模保育施設「万葉にこにこ保育園」の開園等、子育て中の保護者の皆様が安心して働ける環境を整えております。

昨年新たに、高齢者や障害のある方が元気で生きがいのある生活を送ることができるよう、タクシー乗車料金の一部を助成するタクシー利用券助成事業を開始しました。今後

もより良い福祉政策を実行して参ります。

本村の財政は皆様方のご協力によりまして、県内においても財政状況が良好な自治体となっております。特に自動車関連をはじめとした製造業などの企業立地が相次ぎ、自主財源比率が年々高まっており、今後は中長期的な視点に立った財政運営を行い、生活環境の整備や福祉の向上、基幹産業である農業振興のために、更なる取り組みを行って参ります。

結びに、今年で村制施行129年目になる大衡村の限らない発展と地方創生の実現を目指し、諸施策を全力投球で推進し、村民の皆様が心身ともに健康で安心して暮らせる、「みんなで創る新たな万葉の里おおひら」が実感できるような村政に邁進して参りますので、村政運営に尚一層のご理解とご協力をお願い申し上げますと共に、皆様方の益々のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

